

# 黒石団地区 防犯パトロール隊

市町村名 合志市  
活動開始 平成 17 年 5 月～  
参加人数 32 名 (平成 25 年 2 月現在)



## 活動を始めた きっかけ

平成 17 年、老人会の方々がいつまでも元気に歩いて子どもを見守るという趣旨で、40 名で防犯パトロール隊を結成しました。しかし、残念なことに、平成 23 年 1 月から 5 月にかけて、地区内で連続ひったくり事件が発生。「これはボランティア団体だけでなく地域全体の問題！」との思いから、自治会と防犯パトロール隊が一丸となつての取り組みが本格的に始まり、警戒パトロールやひったくり撲滅キャンペーン、地域への注意喚起の速報チラシを配るなど、懸命に活動を続けました。その結果、事件は終息を迎えました。

その際、私たちは、「地区全体が警戒していれば、犯人がこの警戒に気付き、大きな事件は起きない」と学び、同年 8 月 23 日、これまでの反省と教訓を踏まえて黒石団地区自治会パトロールセンターの開所に至りました。現在は自治会のボランティア団体として活動しています。

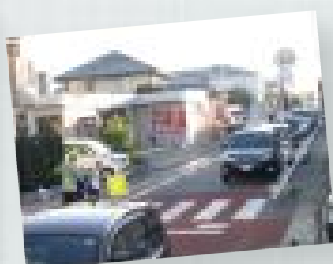
## 主な 活動内容

### 巡回パトロール

毎週 2 回、当番制で地域の小学校の低学年の下校に合わせ、午後 3 時に公民館に集合し、交通誘導等や、団地内巡回パトロール（団地内美化も兼用）を実施しています。

### 夜間巡回パトロール

月 3 回は、自治会と防犯パトロール隊（共に当番制）で夜 8 時から 10 時まで、団地内の夜間巡回パトロールを実施しています。



## 子どもの登・下校時の交通誘導・パトロール（月曜～金曜）

平日朝 7 時から 8 時まで 1 時間くらいで登校見守りと交通指導を実施。これは、防犯パトロール隊の有志で実施しています。

また、中学生の部活帰りに不審者による声かけが発生したため、平日の部活終了時間に合わせ 1 時間くらい、青パト 6 台と隊員で当番制による見守り活動も実施しています。

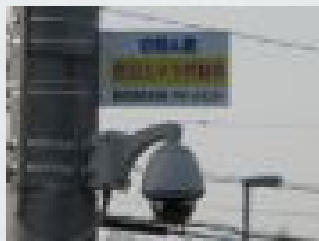
## 防犯キャンペーンの実施、協力

「ひったくり撲滅キャンペーン」では、自治会役員・防犯パトロール隊で、大津警察署の協力を得ながら、駅前のコンビニ駐車場や黒石駅ホームで、電車から降りてくる女性客を中心にチラシを配布し、注意を喚起しました。



## 自治会予算で、防犯カメラの設置

自治会での設置は、県内初です。



## 「パトロールセンター速報」の作成、配布

毎月何らかの記事を掲載して発行されるパトロールセンター速報は、1000 部印刷して各戸に配布しています。





## 進めるポイント

黒石団地区自治会では「安全・安心（防犯）」を区の最重点施策として位置づけており、住民全員を巻き込んだ形で防犯活動を行っています。

自治会の会計予算に新たに「防犯費」を計上する事により、防犯カメラを設置しました。また、パトロールセンター関係 20 万円と夜間パトロール経費 10 万円も新たに計上しました。平成 24 年度は、青色回転灯を 3 台購入し、青パトを 6 車両に増やし、活動を充実させることができました。

## 活動の ポイント



## 広げるポイント

夜間パトロールは、自治会員全世帯が当番制で担当する仕組みを作り上げました。夜間パトロールに参加することにより、会員一人一人が「自分たちの安心安全は自分たちの手で守る」という意識が芽生えて来るものと期待しています。

また、パトロールセンター開所 1 周年を記念して、「安心安全のタベ in 黒石団地」を開催しました。毎年 8 月の夏祭りと同ラボさせ、自治会員約 2,000 人が集う会場に県警音楽隊を招き、「みんなで安心安全を考えよう」という趣旨のもと、楽しみながら地区住民の防犯意識向上を図ることが出来ました。



## 続けるポイント

黒石団地区自治会では、これまで防犯に関してはパトロール隊にお任せという感じでしたが、今回の一連のひったくり事件、また地区内の治安の悪化を受け、自治会とパトロール隊で意見を出し合い、様々な工夫を凝らし取り組んでいます。

また、警察署や学校と情報の交換・共有を行い、連携を取ることで円滑に活動することが出来ています。

## 今後の 課題や抱負

隊員の高齢化も進んできているため、次の世代の育成に取り組んでいくことが今後の課題の一つとなっています。

取組みを通じ、ボランティアの活動だけでは収まらないことがあると痛感しました。自治会が前面に出て、パトロールセンターの開所・青パトの導入・夜間パトロールの開始・防犯カメラの設置と、次々と施策を打ち出してきましたが、これらの取組みを今後も末永く継続していかなければなりません。

非常に残念なことに、同地区では、地域の人口の急増に伴い事件が起きてしまいました。しかし、この現状の中でも、日頃のパトロールの効果は実感しています。防犯パトロール隊として、区民に防犯に対する意識向上を図り、子どもたちの見守り活動など地域の安心・安全の為に地道な活動ではありますが、今後も継続こそ大切だと自負しています。

我々の活動が犯罪の抑止へと繋がるよう、今以上に自治会員を巻き込んで活動を広げていきたいと思っています。